

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ 月 日 曜日）

たいの岩釜山

神山小学校 五年 みつぞの ひなた

ぼくは、たいの山釜山に行きました。

ハイハイの上がるところがきつかったです。

しよくぶつのお話いろいろだねはながあり

ました。ぼくは、もののけひめの森森みたいだ

な！と思いました。しかのやどなどいろいろ

なところをみんなとみれたのでうれしかった

です。やすんでからまた上がりました。

キリがががって前があまり見えませんでした。

ごはんは、めっちゃうまかったです。

あともうずぐです。うごうたのでがんば

りました。ちやうちやうたでは、明るくてす

いでした。たいてい見るとたいこのおとがきこえ

ました。おるときにきこえる音がすごくつめだか

た。さがるときにめっちゃわかかったです。

そい道でした。ヒョウヤニがすごくつめだか

かったです。

キョウけいしてるときに前のはとていっ

しに行きました。

No.

（不許複製）

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



